



障がいのある方の雇用に取り組む

サント機工株式会社 (綾部市)

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】 機械部品加工・ねじの機械選別

【障がいのある方の主な仕事】 機械加工オペレーター、ねじの機械選別オペレーター

【障がい者雇用の経緯】

聴覚障がいのある方の一人は勤続40年以上になります。ねじの機械選別職場で勤務する2名の雇用は、求人した時、就労支援機関からお声掛け頂いた事がきっかけです。現在、4名の障がいのある方が機械加工職場のオペレーターやねじの機械選別職場の箱詰め作業に従事しています。会社としては様々な機会を得て、ダイバーシティ経営について理解を深め、いろいろな人材の方としっかり融和して長期の安定した雇用を目指しています。



【周りの人々の理解の中で、時間をかけて】

2名の聴覚障がいのある方の働く機械加工職場では、図面が1つの共通言語となっていることに加え、周りの従業員も大きな声で口元をしっかりと見せて話し、必要な時は筆談を交えることでコミュニケーションを図っています。

知的障がいのある方が働く、ねじの機械選別職場では、指導する側が障がい特性をよく理解し、時間を掛けて繰り返し指導することで、出来ることを徐々に増やすことを基本にしています。職場の従業員がそれぞれの特性をよく理解し、ゆっくりと接することが、自然と職場に溶け込めることにつながると思います。

【Fさんに聞きました】

2年目です。最初は作業内容を覚えられず大変でしたが、何度も繰り返し教えてもらうことで出来ることが少しずつ広がってきました。体調を崩すときもありましたが、優しくサポートしていただいたので、助かりました。この仕事を長く続けることが私の目標です。

【Oさんに聞きました】

25年目です。聴覚障がいがありますが、周りの方の理解で、コミュニケーションに困ることはありません。

機械の不具合を目視や振動などで判断しなければならず慣れるまで大変でした。

